

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 28 日	
茨城県知事	殿
提出者	
住 所	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 10F
氏 名	旭化成リフォーム(株) リモデリング営業所 所長 松本和久
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-6302-3711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭化成建材株式会社 境工場社宅 解体工事
事業場の所在地	茨城県猿島郡境町上小橋 5 5 - 1
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	6, 268 百万円(売上高)
③ 従業員数	33 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック類 → 破碎・圧縮 → 再資源化 木くず → 破碎 → 再資源化 繊維くず → 破碎・切断 → 再資源化 金属くず → 破碎・切断 → 再資源化 廃石膏ボード → 破碎・切断 → 再資源化 ガラス・コンクリート・陶磁器くず → 破碎 → 再資源化 コンクリートがら・その他がれき類 → 再資源化 アスコンがら → 再資源化 混合廃棄物 → 破碎・切断・圧縮 → 埋立 石綿含有産業廃棄物 → 埋立



## (第 2 面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 代表取締役  
 |  
 RC 委員会 (環境・安全・品質管理機関) <参加者: 技術部長・関連部課長>  
 |  
 統括責任者 (技術部長)  
 |  
 産業廃棄物処理責任者 (全国各ブロックの施工部門センター長)  
 |  
 産業廃棄物管理責任者 (各エリア工事課長)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 ( 2023 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排 出 量	1922.3 t	t
	(これまでに実施した取組) ・梱包の削減・簡易化 ・廃棄物の保管状況、濡れの防止 ・仮設材 (養生材) の再利用促進 ※2023 年度は共同住宅解体工事を受注したため 1,000 t 以上排出となった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排 出 量	240.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・各排出事業場での分別の徹底を進め、混合廃棄物の削減および再資源化を促進する。 ※解体工事受注は無いので 1,000 t 未満の見込み。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場にて下記分別を実施 ・廃プラスチック、金属くず、ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず、廃石膏ボード、木くず、紙くず、ダンボール、繊維くず、石綿含有産業廃棄物、がれき類
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記、現状取り組みの徹底と、現場における分別掲示物の再周知等による認識浸透を図る。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	1922.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1877.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・関東圏の各エリアの委託業者の情報をもとに、処理方法・契約単価など適正な業者選定を行っている。 ・親会社の広域認定制度を活用し、再生利用業者への処理委託を適正に行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全 処 理 委 託 量	240.0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	230.0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  ・優良認定業者への委託を検討していく。 ・収集運搬業者に関し、適切なタイミングでの回収ができるよう、委託先の追加・見直しの検討を進める。 新規契約時には、審査（書類・現地視察）・情報収集の行い、適正処理を維持する。 ・継続して、委託業者の施設視察を行い、適正処理の確認を行う。 ・親会社の広域認定制度を活用した再生利用業者への処理委託を継続する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

